

**第9回独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院
地域連絡協議会議事概要**

【日 時】2019年5月17日（金） 14時00分～15時00分

【場 所】大会議室（中央棟6階）

【議 題】Ⅰ 新任委員紹介

Ⅱ 地域医療連携に関するデータ報告 加藤室長

1) 紹介率・逆紹介率・初診患者数の推移 資料1

2) 病診連携（受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等） 資料2

3) 退院調整（調整件数・退院先状況） 資料3

Ⅲ 「がん診療連携拠点病院の更新と今後の取り組み」 外科 林英司部長

Ⅳ 討論

Ⅴ 閉会

【出席者】（以下、敬称略、五十音順 職名は別紙参照）

今村修治、大島伸一、尾辻美和子、加藤雅通、喜多村隆、久野雅芳、鈴木学、高橋直幸、永田悦子、日比野正範、村井満美子、安江直二、山口賢司、山田規貴

【欠席者】

狩野良雄、越真司、柴田真一、水谷武彦、安井直

【当院出席者】

絹川常郎、柴田元博、加田賢治

【当院欠席者】

池田公、細田毅、田中小百合

【オブザーバー】

独立行政法人地域医療機能推進機構東海北陸地区事務所より3名

【開会挨拶】

（絹川院長）

1. 10連休のこと

当院は3次救急病院としての役割を重視し、通常診療は行わず、代わりに10連休中の日中は、通常、宿当直を免除されている部長クラスも含め、各科の回診医にも院内待機させ、救急外来の医師の負担解消と、医療の質の向上を図った。

その結果、10日間で、159台の救急車を受入れ、1054名の救急患者を診察し、162名には入院治療を行うとともに、28件の緊急手術を行った。手術患者の1/3は整形外科関連であった。

ほぼ想定内の患者数で、大きな混乱無く、役割を果たせたと考えている。

2. 病院機能評価のこと

5月29、30日の2日間、5回目の病院機能評価を受診することとなっている。5年に1回の受審は病院の医療の質を保つ上で重要なイベントである。紹介患者への影響などは最小限となるよう準備しているので、ご心配はなさらないようお願いする。

3. 病院建設のこと

何度も、計画を変更してきたが、昨年、JCHO本部で病院建設計画の申請が漸く受理され、設計事務所などの入札も終わり、この4月から病院設計が始まったところである。工事は、1期工事は、看護学校跡地への駐車場建設と第1、第2駐車場敷地に、救命救急センター、手

術室を含む 400 床の高度急性期に特化した病棟を建設する。現本館は残し、改装してしばらく利用する。借入金の返還に目処のつく頃に、外来と不足する病床を中心とした棟を建設する予定である。

4. 日本医療マネジメント学会の事

本年 7 月 19, 20 日の 2 日間、国際会議場で第 21 回日本医療マネジメント学会学術集会を会長として開催する。病院の運営について討議する学会で、4000 名の参加者を期待している。参加者の半数が看護師、2 割が、院長等の病院管理者で、テーマは働き方改革である。最終日には、認知症患者への対応方法として注目されるユマニチュードに関して、東京医療センターの本田美和子先生を講師とする市民公開講座の開催も予定している。本支援委員会の委員にも関係者に学会のことを伝えていただければ幸いです。

(山口委員長)

10 連休に関しては、地域医療の面から振り返ってみると日本医師会からは地域医療が混乱しないように体制づくりをするようにと通知があり、南区では休日診療所はもちろん、90 の診療所のうち二割ぐらいが 2 日間通常診療し、特に混乱なく終わった。今年の年末年始も長い年休となり、インフルエンザもあって、大変になるかと思うが、引き続き一次、二次、三次医療と消防の協力を得て連携していきたいと思う。新年度になり中京病院に十数名の研修医がはいり、南区医師会 C 会員に入会していただき感謝します。本年度初めての会議ですが、忌憚のないご意見をよろしく願います。

(永田理事)

10 連休の話ですが、医学会総会も無事終わり、名古屋市医師会では急病センターで外科の一次救急が始まり無事終わったこと、在宅寝たきりの患者さんのバックアップも少しずつやられて無事終わったことを報告します。働き改革が始まって、地域医療でバックアップしていきたいとほかの理事とも話しております。

(加藤理事)

先の医学会総会におかれては多数ご出席していただきありがとうございました。医師会としまして地域医療連携のことで活動しておりますので、これからもご指導いただきながら活動していきたいと思っております。

【概要】

I 新任委員紹介

(高橋直幸委員)

南区役所福祉部長の高橋です。この表をみますと私と南消防署長が新メンバーであります。消防署長は欠席ということで私ひとりの状況であります。役所生活 30 年ですが医療分野、福祉分野が初めてで、福祉部長になって携わることになりますので、医療行政代表というのが、荷が重いというのが正直なところではありますが、皆さんと一緒に勉強させていただきたいと思っております。

II 地域医療連携に関するデータ報告 (加藤室長)

1) 紹介率・逆紹介率・初診患者の推移 (資料 1)

地域医療支援病院報告事項一覧 (資料 1-1)

◆ 外来・入院等実績

外来患者延数は 71,381 人、入院患者延数は 43,362 人、平均在院日数は 11.4 日

◆ 紹介・逆紹介実績

初診患者は 4,478 人、紹介患者数 2,928 人（紹介率 65.4%）。逆紹介患者数は 4,761 人（逆紹介率 106.3%）となっている。

◆ 救急実績

患者数が 5,197 人（うち 19.1%が入院）となっている。救急車搬送患者は 1,542 人、小児救急患者が 842 人の診療実績となっている。

紹介率・逆紹介率・初診患者数について（資料 1-2）

2018 年度実績は紹介率が 70%前後で維持されており、逆紹介率は年度末 100%を超えている状況である

2) 病診連携（受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等）（資料 2）

2018 年度（1～3 月実績）FAX 紹介受診予約／FAX・Web 紹介検査予約について（資料 2-1）

紹介受診予約件数は月平均 700～800 件。

検査予約は CT、MRI、上部消化管内視鏡検査を中心に月平均で 100～120 件の予約を例年どおり頂いている。

年度別 FAX 紹介受診予約／FAX・Web 紹介検査予約について（資料 2-2）

2018 年度実績で紹介受診予約件数は 9,865 件（前年度比 14%増）で検査予約件数は 1,585 件（前年度比 3%増）の予約を頂いている。

2018 年度（1～3 月実績）開放型病床利用（資料 2-3、2-4）

眼科、外科、内分泌糖尿病内科を中心にご利用頂いている。

2018 年度は 1399 日と 10%下回っているが、今後とも引き続きご利用願いたい。

3) 退院調整（調整件数・退院先状況）（資料 3）

2018 年度実績で退院患者総数 15,658 人中 13.9%（2,187 人）の患者について退院調整を実施した。毎年増加傾向である。

転帰状況については、調整に介入した患者の 50%が病院へ、施設へ 13%、自宅は 30%である。転院先医療区分は 52%が回復期リハビリ病院、一般病院 22%、となっている。（円グラフ参照）。

個別の転院先に関しては資料 3-2 を参照。

Ⅲ 「がん診療連携拠点病院の更新と今後の取り組み」

外科 林英司部長

《要旨 - スライドより抜粋》

- ・当院はがん診療連携拠点病院であり、今回も 4 年間の指定期間の認定をいただいた。
- ・今回の拠点病院の指定要件見直しのポイントにチーム医療の更なる推進がある。当院ではがん患者への主な就労支援対策として社会福祉・社会保険労務士の相談窓口を設けている。
また、周術期外来（術前外来）をしている。
- ・がん医療の充実のひとつに「がんゲノム医療」があり、当院では遺伝外来を遺伝カウンセラーが対応している。また、小児、AYA 世代がん治療後の長期フォローアップ外来で医師・がん専門看護師・化学療法専門薬剤師・臨床心理士らがフォローアップガイドラインに沿って対応している。がん拠点病院はチームでがん診療をおこなっている。

- ・地域連携の推進において、愛知県統一がん診療連携パスはかかりつけの先生と両方で診るシステムで、当院はこのパスの開発・改訂を担当している。
- ・今後のがん診療の厚生省の目指しているところは、複数科多職種連携スタッフのチーム医療の充実と拠点病院と地域の包括的な診療ネットワークの構築である。

質疑応答

(永田理事)

遺伝子カウンセリングはいくらですか？

(林部長)

ちまたの病院では1時間1万円ぐらいとっているようですが、現在、当院ではサービスでしています。診療の一環としてしますので、該当する診療科にご紹介をお願いします。

その検査をやるかどうかをカウンセラーと相談してからになります。

(山口委員長)

症例数の数とがん種類の要件はありますか。

(林部長)

がんの手術件数が400件、がん登録が500件という要件がありますが、当院は800件、登録が通年1,300件であります。放射線治療が200件の要件がありますが、300件弱あります。化学療法が1レジメ1,000件ありますが、クリアしています。がん種類の要件はありません。

IV 討論

V 閉会

2019年度 地域医療支援委員会開催予定

8月16日(金)(病診連携システム運営協議会・開放型病床運営協議会 合同)

11月15日(金)・2020年2月21日(金)14時～ 中京病院中央棟6階 大会議室